

ニュース いちしNEWS

一志総合支所
地域振興課 発行
電話293-3000
FAX293-5544
令和元年12月16日
第44号

ふれあいまつり



11月10日に一志農村環境改善センター・一志庁舎・JA三重中央本店を会場に、「一志町ふれあいまつり」が開催されました。



このまつりは、毎年この時期の恒例となっており、今年も好天に恵まれ、開催を楽しみにしていた多くの方が来場されました。



今年も屋内でのダンスやよさこい、屋外ではもちつき大会など各種イベントのほか、食事コーナー、野菜や乾物などの販売コーナー、自動車や農機具の展示など内容は盛りだくさんでした。

午後からの屋内イベントでは、ともに地元出身の「あつ」さんのライブや「くるくるコミック」のコントに続き「島田洋七」さんの講演会があり、絶妙な話術で会場を笑い感動で包み大盛り上がりでした。

おいしい食事でお腹を満たし、お目当ての品々を両手に抱えた来場者のみなさんは、各々が満足そうな表情で、秋の一日を存分に楽しんでいました。



駐車場行きバスが出発します！



オープニングは一志中プラスバンド部



今年は、とこまるくんも参加！



恒例の「もちつき大会」。この後、来場者に振る舞われました。



たくさん美味しいもの用意しましたよ！



ガラガラガラ、何が当たるかな？



駐車場いっぱいたくさんの店が広がりました。



ステージイベントでは元気な笑い声が響きました。



人権を大切にしよう！

人権をテーマにした作品として町内の小学生（5・6年生）及び中学生から応募されたポスターは命の尊さ、人とのつながり等さまざまな人権に対する思いを表現しており、多くの中から入選作品が選考されました。

これらの作品は、12月4日から11日まで一志農村環境改善センターで展示されました。

また右の優秀賞2点については、津市の人権啓発用のカレンダーとして、みなさんにもご覧いただく予定です。



一志西小6年 前山 陽菜さん



一志中3年 松下 結衣さん

河上のゆつ岩群に草生さす 常にもがな常処女（とこおとめ）にて・・・（万葉集1-22）

10月31日にとこおとめの里一志にて、斎宮歴史博物館学芸員の岸田早苗さんを講師に「とこおとめの里一志にまつわる歴史講演会」が行われました。

主催は一志町歴史語り部の会で、新元号「令和」の出典元でもある万葉集の中に、会場である「とこおとめの里一志」の名前の由来となった歌があることから、当時の時代背景や出来事を「壬申の乱と十市皇女」と題して行われました。



集まった約100名の来場者は、熱心に講師の話に耳を傾けていました。

また、会場の外では、歌が詠まれた場所とされる一志町内の4つの候補地が写真で展示されており、来場者は講演会終了後に立ち止まって熱心に見ていました。



おおーい夢カフェがオープン！

10月1日に津市ボランティア登録団体「おおーいドリーム夢クラブ（森田秀子代表）」による地域の交流拠点「おおーい夢カフェ」がプレオープンし、地元の方々を招いてお披露目式が行われました。

大井地区の有志7人が結束し、昔からの伝統を次世代に伝えるとともに元気いっぱいの地域づくりに貢献しようと井関地内の民家を借り受け、カフェやサロンを定期的を実施する念願の交流拠点をづくりあげました。

森田さんは「ここまでいろんなハードルがあり大変でしたが、やっと念願がかないました。地元ボランティアの皆さんの協力を得ながら“明るく楽しい憩いの場”を地域の方々へ提供していけるよう頑張っていきます。」とあいさつし、続いて琴と尺八の記念演奏やおおーい夢カフェサロンなどが行われ、参加者全員が楽しいひと時を過ごしました。



カナダレスリングチームが子どもたちとレスリングで交流

10月5日から9日にかけて、東京オリンピックの「1年前キャンプ」としてカナダレスリングチームの女子選手5名とスタッフ9名が津市を訪れました。

10月6日には一志体育館を訪れ、ジュニアレスリング教室として、一志ジュニアレスリング教室を始めとした県内のレスリングクラブの子どもたちと一緒に練習に励み



ました。子どもたちは、世界選手権金メダルの選手などトップ選手からの直接の指導に、熱心に話を聞き、取り組んでいました。



一志にもアサギマダラが飛来！

一志町波瀬の下之世古自治会が所有する里の丘広場にあるフジバカマ畑に、渡り蝶のアサギマダラの飛来が確認されました。

地域のボランティア団体「里山ファンクラブ」が美杉町下之川で栽培されている株を譲り受け植え付けたもので、9月上旬に花が付き、10月6日に初めてアサギマダラの飛来を確認したそうです。



その後も、多くのアサギマダラが花の蜜を吸いに飛来していました。



みんなで一志を盛り上げよう！

11月2・3日にとこおとめの里一志を会場にして「いちしコスモスもりもりフェスタ」が開催されました。

一志町を盛り上げようと集まったメンバーを中心に、「一志町に新しい風物詩を作りたい」として、3月に地域型マルシェ「いちしもりもりマルシェ」を初めて開催し、今回が3回目となりました。



駐車場には何台ものキッチンカーが揃い、多くの来場者で賑わいました。

各地で文化祭が行われました！

波瀬公民館文化祭

11月3・4日に波瀬ふれあい会館で、波瀬地区文化祭が開催されました。

講座生や地域のみなさんの絵画や書道のほか、リメイク作品、見事に咲いた菊花の展示だけでなく、地元小学生の作品や矢頭の子クラブの活動状況の報告など地域全体で取り組まれた活動の展示がありました。

また、お昼にはうどんの販売やぜんざいの提供があり、見学に訪れたみなさんは和気あいあいと食していました。



川合公民館文化祭

11月9・10日にコミュニティプラザ川合（川合公民館）で、川合ふえすた&川合公民館文化祭が行われました。

講座生や川合幼稚園児、一志東小生徒の作品展示や発表のほか、地域内外からのよさこいやダンス、一志学園生徒によるコンサートなど多種多様な催しがされました。

また、草木染めなどの講座体験やバザーなど多くの出店があり、世代や地域を越えた交流に盛り上がっていました。



大井公民館文化祭

11月17日に大井公民館で、大井地区文化祭が開催されました。

講座生のほか小学生や地域の方、手織りグループ「しおり」の作品展示、一志学園と企画した茶席でのおもてなしがありました。舞台では、農産物の表彰式、リメイク・着付けのショーを始め歌や踊りの発表がありました。

屋外では、白バイの展示やバザー等地域団体の出店により「三世代の出会い・楽しみ・賑わい」が実現されていました。



一志高岡公民館文化祭

11月2・3日に一志高岡公民館で、一志高岡公民館文化祭が開催されました。

講座生によるマジックやフォークダンス、太極拳の舞台発表のほか、木彫りやポーセラーツ、ちぎり絵など多くの作品が展示されており、来場者は足を止めて鑑賞していました。

また、チャリティバザーのほか親子バルーン体験講座が行われ、バルーンでクリスマスツリーを作る作業に、親子が夢中になって取り組んでいました。



川合文化会館文化祭

10月26日に川合文化会館で、第37回川合文化会館文化祭が開催されました。雲一つない晴天の中、講座生の作品展示や各種成果の発表に多くの方が来場しました。

屋外では、恒例の餅つきが行われ、つきたてのお餅が多くの方に振る舞われました。一志町反差別人権ネットワークのうどん販売、一志東小生の不用品バザーやぎんなんの販売、一志町青少年友の会のポップコーンや小物の販売も人気を集め、お昼には完売となりました。

屋内では、教養文化講座の作品だけでなく、かわいっ子クラブや保育園児、小学生、教育集会所、地域のみなさんの作品が展示され、ステージでは大正琴の演奏や保育園児の手話と歌、歌謡クラブの舞台発表などで賑わいました。



午後からは、北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表の伊藤真波さんによる人権講演会があり、右腕を失いながらも、日本初の義手の看護師になり、水泳やバイオリンに取り組む姿や、特注の義手をつけてのバイオリンの生演奏に会場は大きな拍手に包まれました。





(矢頭山の遠景)



(中宮奥社)



(県指定天然記念物「矢頭の大杉」)

矢頭山・矢頭の大杉 (波瀬地区)

矢頭山は、文武天皇の御代(697~706年)に、役小角(えんのおづぬ)が開いたといわれています。「一片の雲もなく晴れ渡ったある日、小角が空を眺めていると、にわか二本の白い矢が飛んできて山の峰をかすめ麓の里に落ちた。それで小角はこの山を矢頭山と名づけて崇拜し、山頂に蔵王権現を祀ったといわれている。また矢の落下したところを矢下(やおろし・松阪市嬉野矢下町)と名づけた。」と伝わっています。

南から牛ヶ嶺、不動ヶ嶽、風尾ヶ嶽(かざおがたけ)、最高峰の御峰(おみね・730.8m)、地藏嶽の五つの峰からなる連山を矢頭山と呼んでいます。矢頭峠手前の中宮公園にある登山口から登っていくとききれいな不動滝があり、その滝の中ごろの岩には不動明王と石仏が刻まれています。谷の流れに沿って登り大日拝望台に出て、尾根道を登ると秋葉大権現の石碑がある峰に着き、やがて矢頭蔵王権現の小さな祠のある山頂に着きます。季節や天候にもよりますが、南は熊野の山々、眼下には津・松阪の町そして伊勢湾、西方には青山高原や名張の山々を眺めることができます。

また、1953年(昭和28年)に三重県の天然記念物に指定された「矢頭の大杉」が、矢頭の中宮といわれる波氏(はて)神社の奥社の境内にあります。周囲に石柵を設け、小鳥居を建てて神木として保護されています。この大杉は、樹齢約1000年で、胸高周囲約10mあります。

(樹高は約40mありましたが、平成30年9月の台風21号により上部の枝が折れ、現在の正確な高さはわかりません。)
(引用主要文献「一志町史」)

【矢頭山の登り方】

※ 雨天時や雨上がりは地面が滑りやすく危険です。
また、一人で登るのは極力避けましょう。



(山頂まであと少し)



(不動滝)



(樁小屋で一休み)